

たかはぎ

議会だより



4 台の津波監視カメラのモニター画像



高萩高等学校に設置された
津波監視カメラ

平成26年 第1回定例会

会期 3月7日～3月24日

議案に対する質疑	3
委員会審査報告	4
討論・議案等審議結果	6
市政に対する一般質問	7
特別委員会報告	12



2014年5月8日 No.129

提出された議案等

- | | | | |
|--------|--|------------------|--|
| 報告第1号 | 専決処分の承認を求めることについて
(平成25年度高萩市一般会計補正予算
(第5号)) | 議案第20号 | 高萩市非常勤消防団員に係る退職報償
金の支給に関する条例の一部改正につ
いて |
| 報告第2号 | 専決処分の報告について(損害賠償の
額の決定及び和解について) | 議案第21号 | 高萩市社会教育委員に関する条例の一
部改正について |
| 報告第3号 | 専決処分の報告について(損害賠償の
額の決定及び和解について) | 議案第22号 | 高萩市青少年問題協議会設置条例の一
部改正について |
| 議案第1号 | 高萩市公平委員会の委員の選任につ
いて | 議案第23号 | 高萩市高浜運動広場の設置及び管理に
関する条例の一部改正について |
| 議案第2号 | 高萩市固定資産評価審査委員会の委員
の選任について | 議案第24号 | 高萩市工業用水道事業条例の一部改正
について |
| 議案第3号 | 高萩市固定資産評価審査委員会の委員
の選任について | 議案第25号 | 高萩市水道事業給水条例の一部改正に
ついて |
| 議案第4号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 議案第26号 | 高萩中学校校舎耐震補強・津波避難施
設整備工事請負契約の締結について |
| 議案第5号 | 平成25年度高萩市一般会計補正予算(第
6号) | 議案第27号 | 茨城消防救急デジタル無線及び高機能
消防共同指令センター整備工事請負契
約の締結について |
| 議案第6号 | 平成25年度高萩市国民健康保険事業特
別会計補正予算(第2号) | 議案第28号 | 平成26年度高萩市一般会計暫定予算 |
| 議案第7号 | 平成25年度高萩市後期高齢者医療事業
特別会計補正予算(第1号) | 議案第29号 | 平成26年度高萩市国民健康保険事業特
別会計暫定予算 |
| 議案第8号 | 平成25年度高萩市介護保険事業特別会
計補正予算(第3号) | 議案第30号 | 平成26年度高萩市後期高齢者医療事業
特別会計暫定予算 |
| 議案第9号 | 平成25年度高萩市霊園事業特別会計補
正予算(第1号) | 議案第31号 | 平成26年度高萩市介護保険事業特別会
計暫定予算 |
| 議案第10号 | 平成25年度高萩市水道事業会計補正予
算(第3号) | 議案第32号 | 平成26年度高萩市霊園事業特別会計暫
定予算 |
| 議案第11号 | 高萩市内部組織の改編に伴う関係条例
の整理に関する条例の制定について | 議案第33号 | 平成26年度高萩市水道事業会計暫定予
算 |
| 議案第12号 | 高萩市特別職の職員で常勤のものの給
与及び旅費に関する条例及び高萩市教
育委員会教育長の給与、勤務時間その
他の勤務条件に関する条例の一部を改
正する条例の制定について | 議案第34号 | 平成26年度高萩市工業用水道事業会計
暫定予算 |
| 議案第13号 | 高萩市安全な飲料水の確保に関する条
例の制定について | | |
| 議案第14号 | 高萩市消防長及び消防署長の資格を定
める条例の制定について | | |
| 議案第15号 | 高萩市職員の給与に関する条例等の一
部を改正する条例の一部改正について | | |
| 議案第16号 | 高萩市行政財産使用料条例の一部改正
について | | |
| 議案第17号 | 高萩市消防関係事務手数料条例の一部
改正について | | |
| 議案第18号 | 高萩市廃棄物の処理及び再利用に関す
る条例の一部改正について | | |
| 議案第19号 | 高萩市都市公園条例の一部改正につ
いて | | |
| | | 【3月24日提出】 | |
| | | 議案第35号 | 平成25年度高萩市一般会計補正予算(第
7号) |
| | | 議案第36号 | 高萩市議会基本条例の制定について |
| | | 議案第37号 | 高萩市議会委員会条例の一部改正につ
いて |
| | | 議案第38号 | 高萩市議会会議規則の一部改正につ
いて |
| | | 意見書案
第1号 | 介護保険要支援者への保険給付の継続
を求める意見書の提出について |
| | | 決議案
第1号 | 茨城県立高萩工業高等学校跡地人工芝
サッカー場調査特別委員会設置に関す
る決議の提出について |

議案質疑

議案第5号 平成25年度高萩市
一般会計補正予算(第6号)

菊地正芳 議員

質問 衛生費の中のごみ収集処理経費、委託料1132万3000円の増額補正の内容について伺う。

市民生活部長 当初予算で処理予定量7040トンを見込み、トン当たりの処理単価を2万5200円として1億7740万円を計上しました。しかし、449トンの増という事で、その処理経費が1億8872万3000円となりその差額を計上しました。増えた要因は東日本大震災が大きく影響しているのと、災害廃棄物の受け入れが本年度で終了することが大きな要因の一つと推測しております。

今川敏宏 議員

質問 商工会支援経費182万5000円の内容は。

経営戦略部長 昨年6月の商工会職員の定期異動に伴い1名増となり、職員人件費の3分の1を補助するもの。

質問 放射性物質汚染対処経費マ

イナス1億5350万円の減額理由。
総務部長 市内全般的に放射線量の減衰により、除染工事や除染土壌保管用資材が不要になった分。



除染土仮置場

議案第23号 高萩市高浜運動広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

菊地正芳 議員

質問 条例改正の理由と財政メリット及び利用者のメリット。

施設名を変更して、運動広場をスポーツ広場にすることだが、スポーツとは運動を含めた総合的なものと思っている人と「運動は運動」「スポーツはスポーツ」と思っている人もいます。利用者増を期待するのであれば誤解のないよう周知すべきと思うが見解を伺う。

教育部長 勤労青少年ホームにつきましては、利用者が激減してい

る状況なので、高浜運動広場と統合して、多目的に有効利用を図って行きたいと考えての改正です。財政メリットは変わりませんが、勤労青少年ホームの制限を取り払うことで、利用者にとって利用しやすい施設になると考えております。利用者確保については、広報等を通じて丁寧な周知を行ってまいります。



高浜スポーツ広場

議案第28号 平成26年度高萩市
一般会計暫定予算

今川敏宏 議員

質問 全体的な問題として、消費税引き上げに伴う予算計上の考え方で、市の収入になる料金等のうち、上乗せ改訂するものと据え置きのものがあるが、消耗品等の支出は

3%引き上げられ差額が生じると思うが、その処理をどう考えているのか。

副市長 26年度に慎重に検証した上で手数料改定という形で示したいと考えている。

平 正三 議員

質問 東日本大震災復興基金繰入金1412万2000円の財源と目的について伺いたい。

総務部長 財源は、市町村復興まちづくり交付金である。目的は、放射線健康検査、被災者健康支援、高萩市商工会補助金、東日本大震災災害廃棄物対策、災害廃棄物仮置場整備事業、萩っ子サッカー教室開催の6つの事業経費に充当している。

質問 東日本大震災復興基金の平成25年度末残高の見込み額はいくらになるか。

総務部長 1億1781万円である。

質問 暫定予算の繰入金金は1421万円、差し引き約1億円の残高になる。国は住宅復興補助金を1年間延長した。基金ががれき処理に使えらるなら、受入期間を延ばしてもよいのではないか。

副市長 基金は、がれき処理に充当することは可能であるが、本来は国の補助で行うべきと考える。

総務建設経済委員会

3月17日、当委員会に付託された報告1件、議案16件、陳情2件と所管事項の審査を行った。

○平成25年度高萩市一般会計補正予算(第6号)

問 歳入の法人市民税1億919万9000円の減額の理由は。

答 市内主要法人25社中、3社で特別な事情により大きな減少があったため。

問 市営住宅整備事業4500万円の事業内容は。

答 市営高浜第二住宅(12・13号棟)の外壁改修、屋上防水工事。コンクリートの劣化を補修して長寿命化を図る。10年周期で毎年2棟ずつ行っている。

問 橋梁長寿命化推進経費196万2000円減額の理由は。

答 当初、市内の53橋の長寿命化点検を予定していたが、高萩陸橋は別途工事で行うため、中央跨線橋・磯道跨線橋はJR東日本と調整のため、3橋分を減額した。

○茨城消防救急デジタル無線及び高機能消防共同指令センター整備工事請負契約の締結について

問 茨城消防救急デジタル無線及び高機能消防共同指令センターの整備場所と施設の概要は。

答 整備場所は、水戸市内原町1

395番の1、水戸市内原庁舎内。延べ床面積は1400㎡で、指令センター運営協議会が運営し、56名が勤務する。

○平成26年度高萩市一般会計暫定予算

問 市報発送等経費138万7000円について、市報配布の方法の今後の考え方は。

答 新聞折込みでの実施は今後も継続する。防災組織等のコミュニティの活性化、再構築については別に考えていきたい。配布委託料の価格については、他市町村を調査して適正化している。

問 花貫物産センター管理運営経費275万5000円について、建設当初の売上目標は1億円だった。地域の活性化のためにも売上増に向けて努力してほしい。



花貫物産センター(大能)

答 平成22年度には、売上が4691万1000円だったが、震災後の平成23年度には売上げが27・

6%ダウンした。その後は、加工品に力を入れて特産品の開発も進めており、平成24年度、25年度で回復傾向にある。

問 工業用水道事業経費5342万3000円は、高萩・北茨城広域工業用水道企業団への補助金と出資金であるが、今後、約5億円の支出が見込まれる。老朽化する設備の修繕費も含めると更なる支出が見込まれる。今後の対策は。

答 人件費と管理費の削減を進め、高金利の水源開発債については、繰上償還をして利息を減らしている。また、毎年の負担金を減らすため、県から無利子の融資貸付を受けている。



小山ダム(横川)

問 茨城県市町村共同システム整備運営協議会負担金925万円の内容は。

答 インターネット申請届出シス

テムや地図情報の提供を共同で行っている。平成27年度の固定資産評価替えを控え、本年度は航空写真撮影経費878万5000円が含まれている。

問 グリーンタウンてつな管理経費580万円の内容は。

答 本年度は、粗造成地の平地、のり面の草刈を2回実施する。

○その他の事項

問 コミュニティFMへの補助金の減額が予定どおりに進んでいない。費用対効果の面で無駄な事業ではないのか。戸別受信機の導入を優先してはどうか。

答 コミュニティFMは災害時の多様な情報伝達のため、にぎわいの創出のための重要な施策であると考えている。

問 高萩工業高校跡地の人工芝グラウンド整備について。市の最終的な財政負担は1000万円程度となるとしているが、地方債、一般財源で7000万円支出しているのはおかしい。また、4月1日から使用できるのに、運用規定がないのはおかしい。

答 明秀学園からは、地域振興策に貢献したいということで寄附の申し出がある。金額については、今後明秀学園と協議して明文化する。規定の素案は作成して内部で決裁中である。議会中、20日までには策定できるよう作業を進める。

文教厚生委員会

3月14日、当委員会に付託された議案17件と請願1件の審査を行った。

○平成25年度高萩市一般会計補正予算(第6号)

問 私立保育園経費のうち保育所子育て支援委託料の減額分462万2000円と、児童保育委託料の増額分1728万3000円の増額は、

答 補助対象としている産休代替職員雇用事業の実施数が当初見込んでいた数より少なかったことにより、減額補正を行います。

問 保育委託料については、当初の見込みより0歳児の途中入所が増加し、運営費委託料に不足が生じたための増額補正です。

答 子宮頸がん等ワクチン接種促進経費が731万4000円減額になった理由は、

問 平成25年6月14日付で厚生労働省からワクチン接種後に副反応症例が見られたことから積極的な勧奨を一時控えるよう通達があり、接種者が少なくなったため。

答 幼稚園管理運営経費の講師報酬、介助員賃金の減の理由は、

問 講師報酬の減は、幼稚園の学級数は3歳児は20人以下となっているところ、一つの園において3

歳児クラスで21人以上と見込んでいたところ20人で収まり、講師が1名減となったため。

答 介助員賃金の減は、幼児に障がいがある場合に、介助員を配置して介助に当たらせているが、当初5人で見込んでいたが、園児の中で介助がなくても済む程度に成長がみられ、介助員1名を減員したため。



幼稚園の様子

問 ごみ収集・処理経費の可燃ごみ処理委託料の支払先は、

答 委託料1132万3000円は(株)カツタに支払う。想定量での予算で、予算の範囲内で実績で支払う。

問 総合福祉センター管理費678万3000円減の理由は、

答 10月1日から12月16日まで行った浴場改修工事で、排気ダクト配置変更などにより工事監理委託料12万6000円と工事請負費665万7000円が減額となった。

○高萩市高浜運動広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 この条例改正により今後の管理運営は、

答 勤労青少年ホームと運動広場を統合する中で、4月から嘱託の職員がローテーションで管理する。

問 勤労青少年ホームにあった運営委員会はどうなるのか。

答 勤労青少年ホームがその役割



高浜スポーツ広場

がなく、青少年にどう使わせて、どんな事業をするか協議する運営委員会の役目はなくなる。今後は社会教育委員会議の中で、施設の有効利用を検討していく。

○高萩中学校校舎耐震補強・津波避難施設整備工事請負契約の締結について

問 耐震補強と津波避難施設整備工事のそれぞれの金額はいくらか。分離して発注すれば、仕事を分けて与えることができるのでは。

答 耐震補強工事費55%の8667万円と、津波避難施設整備工事45%の6900万円となる。教育委員会の工事発注の考え方は、なるべく早く工事を進めていくことと、子ども達が現場にいての工事となるので、夏休み中に集中して進められるよう財政課に要望している。10月20日までの工事期間210日間の同時工事と考えている。

○平成26年度高萩市一般会計暫定予算

問 地域医療体制確保経費の協同病院運営費(医師確保分)20000万円の補助金の内容は、

答 高萩協同病院に、平成21年度から26年度まで医師基準数に達した場合に補助金を交付するもの。25年度は基準が17名のところ14名の確保で補助金の支出はない。26年度は基準数が18名で基準数に達したときに補助することになる。



議案第36号 高萩市議会基本条例の制定について

賛成討論

小宅 誠 議員

私たち市議会は、市民から選挙で選ばれた議員で構成された市の最高意思決定機関であります。また、選挙で選ばれた高萩市長とともに、憲法で定める地方自治の本旨の実現を目指すものです。

地方分権、地域主権が進展する現在、地方自治体の自己決定と責任の範囲が拡大しています。議会は、市民の福祉向上のために果たす役割と責任はますます大きくなりました。さらに議会は、市長その他の執行機関の活動を監視し、評価して、市民の多様な意思を市政に反映させるために、積極的な情報公開や市民との対話を行い、議員間の自由かつ達な討議を通して、市政の論点、争点を市民に明らかにしていくことが必要である。議会基本条例の制定に当たり、私たち市議会は、市民の代表機

関として、わかりやすい議会運営や開かれた議会づくりを推進する必要性を常に自覚し、市民に信頼される市議会になるうではありませんか。民意を代表する立場にある議員の一人として、より民主的な議会運営、市政運営を基本理念として行動することを宣誓し、素晴らしい基本条例に賛美して、賛成討論といたします。

決議案第1号 茨城県立高萩工業高等学校跡地人工芝サッカー場調査特別委員会設置に関する決議の提出について

賛成討論

寺岡七郎 議員

特別委員会設置に賛成の立場から討論します。

人工芝サッカー場には問題が4つあります。

第一は、サッカー場が明秀に処分する考えで買ったので普通財産であるという考え方です。処分するまではおそらく10年かかるでしょう。その間は、サッカー場として利用するので、行政財産です。

第二に、普通財産か行政財産かは市長の判断でできるという考え方です。政治判断でできるなら自治体

よって財産の分類は異なってしまう。

第三に、地方自治法で使用料は議会の議決の対象です。無料にするかどうかは議会で決めるべきです。市長の権限ではありません。全て市民向けの施設は有料で、実質的に明秀が専属的に使用するだろう施設だけ無料にするのは公平性、透明性が要求される今日、市民の理解を得るのは困難であると思います。

第四に、明秀に土地を処分するときに、今までの地代を差し引くとか、土地の購入価格を考慮するとかを決めるのは議会です。にもかかわらず、議会に何の相談もなく明秀と覚書を交わすのは許せません。



整備された人工芝サッカー場

議 案 等 審 議 結 果

報告第1号、議案第1号から議案第35号までについて採決の結果、議案第5号、議案第16号から議案第19号まで、議案第24号、議案第25号、議案第28号、議案第29号、議案第33号、議案第34号についてはいずれも賛成多数により、その他については全員賛成により承認または可決されました。

議員等提出の議案等については、議案第36号から議案第38号まで、意見書案第1号については可決または決議され、決議案第1号については否決されました。

請願・陳情の審議結果

サッカー場設置に関する陳情書	継 続 審 査
要支援者を介護予防給付から切り離すことに反対の請願書	採 択
新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情	継 続 審 査



岩倉幹良 議員

コミュニティFMについて

質問 津波浸水想定区域に過ごしておられる住民の皆さんのことを考えると戸別受信機の配備が必要であり、市民の命を守るため、前市長の趣味で始めた施策をこれからも続けるのではなく、撤退の方向で早急に検討に入るべきである。市民誰もがそう思っている。

市長 戸別受信機の配備につきましては、費用対効果等勘案しながら今後検討をさせていただきたい。

人工芝サッカー場について

質問 工業高校跡地にできる人工芝サッカー場は公の施設であり、地方自治法では施設の設置及び管理に関する条例をつくりなさいと規定しているが、「跡地は明秀学園を誘致する目的で取得し、将来的には譲渡する考えであるから、条例を制定する考えはない。市民の利用については確保する。」というが、その手法を教えてほしい。

経営戦略部長 日本スポーツ振興センターは、条例制定は助成交付

要件ではなく要綱等で管理できるとのことなので、事務取扱要領を定め、利用団体等に説明会を開催し、円滑な利用を確保する。

質問 明秀学園から市振興策への寄付について、前市長から事務引継ぎがあったか。

市長 明秀学園との協議が整い次第、明文化していく考えである。



春の風物詩



その他の質問事項

○市長の政治姿勢について



我妻康伸 議員

市政の取組について

(1)草間市政の評価について

質問 草間市政をどう評価しているかお聞かせ願いたいと思います。

市長 政治家の評価は、市民の皆様お一人お一人が評価されるものと思っております。私が申し上げられることは、2つの公社の清算の道筋をつくられたことが最大の功績であったものと思っています。

質問 草間市政を継承する考えはあるか伺います。

市長 市民ニーズなど時代の変化に合わせて今後継続していくべきものは継続をし、見直すべきものについては大胆に見直しをしてまいりたいと思っております。

(2)マニフェストについて

質問 高萩市の人口は3万人を切り、なお減少傾向に歯止めがかからない状況であります。市長はどう捉えているか伺います。

市長 人口減少は、街のにぎわいや活力の低下、地域コミュニティの崩壊、さらには財政基盤の脆弱

化などが懸念されることから、定住人口の確保は喫緊の課題である。

質問 定住促進にもつながる、子ども・子育て支援策は早急に打ち出す時期と思いますが、考えをお聞きたい。

市長 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、マル福について、県の制度を踏まえ来年度から充実してまいります。さらに議員からご提案がありましたさまざまな子育ての支援策につきましては、他の市町村の事例などを研究してまいりたいと考えております。



総合福祉センター2階のつどいの広場



平 正三議員

放射性指定廃棄物

最終処分場問題について

質問 環境省から求められるアンケートや今後開かれる市町村長会議に対して、指定廃棄物処分場問題にどのような考えで臨むのか。

市長 国の責任において安全対策を十分講じたうえで、現在の場所と当分の間、保管することが適当と考えている。今後、環境省のアンケートが行われるので、他の市町村の意見を踏まえて適切に判断していきたい。

質問 当分の間を削除し、現場適正保管を最終処分場問題解決の方針にすべきである。



今でも立てられている白紙撤回の看板

原子力災害対策計画

について

質問 東海第2原発で過酷事故が起きた場合、茨城県避難計画によると高萩市民は、大子町に避難することになっているが、長期間大子町に避難することは不可能である。避難計画を立てるよりも東海第2原発の再稼働を認めず、廃炉にすべきと考える。市長は東海第2原発の再稼働について、どのように考えるのか。

市長 原子力発電の再稼働を含め、国の動向を注視してまいりたい。

小中学校の

トイレ問題について

質問 昨年の6月議会で、教育部長は、本年度、全ての小中学校を対象に和式便器を洋式便器に改修するための計画づくりを進めたいと答弁している。小中学校のトイレの現状と改修計画について伺いたい。

教育部長 小中学校の洋式化率は、32%である。改修に向け実施計画の策定に取り組んでいる。

市長 小中学校のトイレ洋式化には、積極的に取り組んでいきたい。

その他の質問事項

○こども医療費無料化について



寺岡七郎議員

FMについて

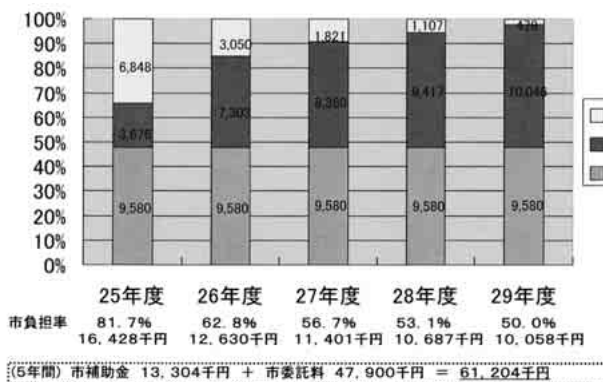
質問 FMについては本年度決算がまだ出ておらず、本格的な議論は決算を見て改めてしたいと思うが、小田木市長には、時間をかけて新たな視点で考えていただきたい。しかし、2点ほど確認したい。第一に、FMは公設公営は認められていないと認識しているが、市長はどう理解しているのか。

第二に、事業計画の中で5年後には年間1000万円の事業収入だが、到底実現できるとは思えないが、市長はどのように考えているのか。

市長 第一は、公設公営は認められないと認識しています。しかし、総務省も自治体からの出資比率を制限なしとするなど規制緩和策を行っている。

第二は、FMの事業収入についても総務省は十分審査し許可を出したと理解しています。

質問 第一に、FMの補助金は、初年度は600万円の予算が議会に示され、2年目には300万円に減る計画だが、暫定予算は3か月で220万円、年間の予算では800万円なのか。



FMたかはぎの市負担の見込み

第二に、FMについては総務省は規制緩和をしたが、それは出資金の30%以内の枠を外したので、運営費ではない。補助金を出しているところがあるのかと前の議会でも聞いたが知らないという答弁であった。

市長公室長 何らかの支援を多くのコミュニティFMで受けています。出資金、補助金、放送委託料などがあると思いますが、補助金のみがあるかは資料を持っています。今後調べます。

その他の質問事項

○学校の適正配置について

○人工芝と覚書について



今川敏宏 議員

復興について

質問 山間地域の活性化の問題ですが、これは市長や行政側が山間地域に求める価値観と、山間地域に居住している住民の「生活の場」としての価値観と、如何に融合できるのかという問題でもあります。

旧高岡地区を見ますと、横川は小山ダム関係、大能は国道461号線沿いで整備され、花貫溪谷から花貫物産センターなど、中戸川は昨年にボーイスカウト日本連盟の誘致が整い、いずれも今後の展開が期待されるところであります。

こう見るとやはり君田地域が取り残されている感が拭えない気がします。また、山間地域の活性化や振興策以前の問題として、飲料水や生活用水等、現在は井戸水や沢水で賄っていますが、水質や水量の不安を抱えたままです。それから有害鳥獣による農作物被害は実害とともに、やる気が削がれてしまう大きな問題だと思えます。

こうしたことを踏まえてまず地域住民と対話を重ね、新しい価値観をつくり出して行ければと思います。ビジョンをお聞かせ下さい。

市長 提言をいただきました懇談会の開催については、年に何回かは私自身が出向いて行いたいと考えています。さまざまな提案をしながらご理解をいただけるような取り組みをしていきたいと思っています。また、間伐材の利用につきましましては、山の持ち主の方、地権者の方々とよく相談しながら取り組んでまいりたいと考えています。



山の風景

その他の質問事項

- 健康づくりについて
- 猛暑対策について



小宅 誠 議員

新市長の市政運営について

質問 3・11をどう評価するか。

市長 災害対応の拠点となる市庁舎が使用できない状況の中、執行部はもとより、議員の皆様が不眠・不休で災害対応に当たっていたことは、十分に認識している。今後はさらなる総括の上、危機管理の体制に取り組んでいきます。

質問 首長としてのあるべき姿は。

市長 協調と対話の形をとります。職員への対応としては、部長としての判断を求めることと、若手職員の新しい発想などを聞き取り、施策に反映していく。「最終的な責任は、市長である私にある。」

議会対策について

質問 議会対策は、いかなる点に留意されるのか。

市長 県議時代の経験を踏まえ、議会と執行部が本当の両輪でありたい。議員の皆様には丁寧な説明を心がけ、十分に議論を重ね、各種施策の実現に取り組みます。

原発事故とエネルギー対策

質問 原発事故とエネルギー対策。市長 国のエネルギー基本計画では、電力の安定的な供給、経済に

与える影響などを勘案し、原発は可能な限り低減していくべきとありますが、今後、国のエネルギー施策を注視してまいります。

指定廃棄物の最終処分場について

質問 指定廃棄物の最終処分場については、どう考察するか。

市長 国の責任において、安全対策を十分に講じた上で、現在の場所に当分の間安心・安全に保管することが適当であると考えています。

除染土壌・仮置場保管について

質問 除染土壌の管理について。

総務部長 花貫クリーンセンターに大きなフレコン袋で約千袋を環境省が定めるガイドラインに沿って適切に保管しております。



3月定例会の様子



田所和雄 議員

災害に強い

まちづくりについて

質問 本市の海岸線の堤防、離岸消波堤の整備経過と現状は。

建設経済部長 離岸堤については、平成7年度までに、海面より2・2メートルの高さで9基、延長1300メートルの整備をした。堤防については、海面より6メートルの高さを確保するため、平成11年度から20年度にかけて花貫川河口から関根川河口までの延長2125メートルについて、高さ1・



関根川河口付近

0メートルの堤防かさ上げ工事を行いました。

質問 今後の海岸線の整備計画は。

建設経済部長 県に確認したところ、有明・高浜海岸については測量委託業務は完了し、整備計画を検討中とのことです。関根川については、河口から新磯馴橋まで延長300メートルの右岸堤防かさ上げ工事を実施します。

市街地の活性化について

質問 平成14年の日本加工製紙の自己破産から12年、平成17年のイトーヨーカドーの撤退から9年が経過したが、市街地の空洞化は止まらない。国土交通省の新しい施策で、都市機能を中心部に集める「コンパクトシティ」の取組がある。市街地の活性化について、市長の基本的な考えを伺います。

市長 中心市街地を活性化させ、にぎわいのあるまちとするためには、イトーヨーカドー跡地への商業施設の誘致は不可欠です。コンパクトシティづくりについては、国の支援策について、本市で取り組めるかどうか、制度の内容を精査します。

その他の質問事項

○児童生徒の通学の安全対策について



菊地正芳 議員

地域防災力の強化について

(1)消防団員の処遇改善について

質問 この質問は、単純に報酬を上げることではなく、消防団員のこれまでの活動に対して、似合ったことをしなければ報われないということである。こういった人達こそ、励まし、称え、バックアップすべきと思うが見解を伺う。

市長 高い消防精神のもと活動をしていただき、心から感謝申し上げます。年額報酬・出勤手当は県内で下から8番目であり、今後、県内動向を見ながら判断していきます。

(2)自主防災組織運営補助金について

質問 現在、自主防災組織は14団体が組織され、防災・減災に関する機運が高まりを見せている。今後さらに地域防災力の向上、強化をしていかなければならない。補助事業の継続を検討すべきと思うが市長の見解を伺う。

市長 24年度に改訂し、翌年度以降3年の活動補助をしましたので更なる継続は難しいと考えます。

(3)スタンドパイプや簡易水道消火装置の配備について

質問 自主防災組織に、これらの機材を配備し防災訓練を実施するなど、地域防災力の強化を図るべきと思うが見解を伺う。

総務部長 各自主防災組織の意見を伺いながら検討します。



スタンドパイプ

通電火災防止について

質問 通電火災はブレーカーを落とせば起こらない。火を出さないという意識啓発を進めるとともに、自動的にブレーカーを落とす簡易装置の導入を進めるべきと考えが見解を伺う。

総務部長 家庭における通電火災対策の一つとして、電源遮断装置の促進を図るため広報に努めてまいります。



電源遮断装置



大足光司 議員

人口増に向けた取り組みについて

質問 人口減少による本市の考えについて聞きたい。

総務部長 本年3月1日現在の常住人口は2万9710人である。平成7年度の国勢調査の人口と比較すると16・6%の減。本市の人口動態は、自然動態では常に出生数が死亡者数を下回り、社会動態では転入者数が転出者数を下回っている状況。

平成25年では自然動態は、出生数が192人に対し死亡者数が360人、168人死亡者数が上回った。社会動態では、転入者数が969人に対し、転出者数が1196人で、転出者数が227人上回った。この要因は、少子高齢化の進行と若年層の就職難など雇用状況にあると考えている。

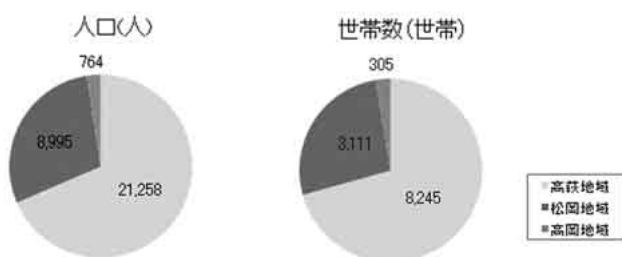
質問 人口減少社会におけるまちづくりについてどのように検討されているかを聞く。

経営戦略部長 本市の人口減少の大きな要因は、社会減（転出者の増加）であり、赤浜地区工業団地や日本加工製紙跡地への企業誘致に積極的に取り組むことで、雇用

の創出を図り、少しでも人口減少に歯止めをかけたい。また、定住促進や子育て支援の創出については、近隣市町の取り組み状況や効果などを調査研究し努力する。

質問 マネジメント白書の取り組みについて総合的にどのように検証をされているのか伺う。

総務部長 現在、公共施設マネジメント白書を基に、公共施設管理



各地域の人口・世帯数（平成22年10月1日）

公共施設の更新や再編などの具体的な計画を策定する。

その他の質問事項

○暴風雪災害対策について
○政策の3本の柱について



鈴木英樹 議員

市政運営に対する決意と

市長の目指す街づくりについて

質問 県議会議員から市長になるうとした決心・決意、英断だと思います。その心境を伺いたい。

県議会議員15年の経験、さらには知識を生かして特に力を入れて進めたい政策分野はどのようなものか。

また、女性ならではの視点、柔軟性、細やかな政策実行について特別な考えがあるか伺います。

市長 生まれ育った高萩市のために、県議会議員としての経験、知識、人脈など最大限生かし、強く、てしなやかなまちづくりを進めることに全力で取り組んでいく覚悟をもって、市長への転出を決意したところです。

市民の皆様の声には、素直に耳を傾け、丁寧に話を聞きながら、適切かつ責任を持って行動することが女性の視点を含めた責任ある行政と考えます。

質問 前草間市長が、生涯現役社会の創出に向けて強力に推進してきた経緯があります。ぜひ、小田木市長にも引き続き取り組んでい

ただきたい。生涯現役社会の創出についての考えを伺います。

また、議会の行政視察に職員が同行することは、非常に市政発展のためにも有効な手段であると思いますが市長の考えを伺います。

市長 予防医学や介護予防、在宅医療との連携など、高齢者がいつまでもお元気で活躍できるまちづくりを引き続き推進してまいります。

また、行政視察地に職員を同行させて育成したい。



J R 高萩駅

震災復興等対策特別委員会

去る3月4日、本庁舎再建工事設計業者が決まり、いよいよ設計段階に入りました。当委員会では設置されてから28回の会議と先進5自治体の庁舎視察を実施し、3月24日議会最終日には執行部に提言するため、新庁舎建設に係る意見として8項目43点をまとめました。

以下意見の主な内容を抜粋してお知らせします。全文については議会のホームページでご覧ください。

新庁舎建設に関する意見

●議場については、贅沢感をなくし、明るい開かれたイメージでデザインし、対面式座席レイアウトや将来の電子化に対応する設備と50席程度の傍聴席を設置し、議場以外の各会議室については、可動式間仕切りで臨機応変に活用できるようにすること。

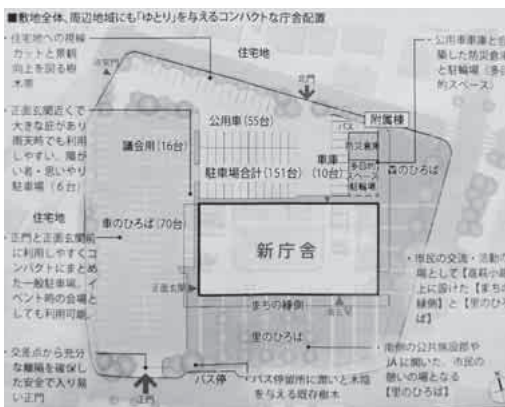
●市民が利用する施設環境については、市民相談時のプライバシー保護を重点とし、一歩進んだバリアフリー化や、喫茶コーナー、コンビニ、Wi-Fi開放等を検討し、確定申告時の混雑対策などを行うこと。

●職員就業環境については、空調など女性職員の意見を反映させたり、執務室では食事をしないよう職員食

堂を設け、リフレッシュコーナー、屋上喫煙所を設けること。

●防災計画関連については、災害対策本部機能最優先で一時避難者と分離体制を考慮することや、情報発信伝達基地の機能を果たし、非常用防災トイレ、貯水、備蓄倉庫、エネルギーを確保すること。

●その他については、エコ技術、自然エネルギー・再生可能エネルギーを最大限活用すること、市民が利用可能な電気自動車用充電スタンドを備えること、将来性を睨んで間仕切りを少なくし部屋割りなど自由に變更できるようにすることなどを提言しました。



新庁舎の配置イメージ

議会改革等調査特別委員会

委員会に付託された案件について調査検討の結果が出ました。定例会最終日に委員長が報告をしました。

委員長報告

去る平成23年第4回定例会において、当委員会に付託された議会基本条例に関する調査検討につきまして、調査項目を議会基本条例に加え、その内容を構成する議会改革について検討することとし、できるものから取り組んでいくこととしました。今日まで25回の委員会を開催するとともに、茨城大学教授を招いての勉強会や、議会報告会の試行的実施、先進地の視察などを行い、調査検討してまいりました。

その結果、市民に対し議会情報を発信するため、本会議と委員会映像のインターネットでの配信、議会報告会の開催、ホームページでの会議録の閲覧等について、実施すべきものと決定しました。

また、議会基本条例については、地方分権時代にふさわしい、市民に開かれた議会と議会改革を推進するため、制定すべきものと決定され、

素案とその解説を作成しました。その後、市民懇談会を開催して意見を聴き、一部を見直したうえで高萩市議会基本条例の成案を決定しました。

報告は本会議において承認され、当委員会は、役目を終えました。今後、議会改革については議会全員協議会に協議の場を移し、引き続き検討していくこととなっております。なお、条例と解説は議会のホームページをご覧ください。



特別委員会での調査・検討

春日町 湯澤 忠芳さん

2月23日、総合福祉センターにおいて、市議会議員との交流があるということで、参加してみました。本題は「高萩市議会基本条例(素案)」に関する説明会でした。全議員が出席して、条例の提案と解説をしていました。

ややもすると市民からは、「議員は何をやっているのか」と、揶揄される風潮がありますから、どうしても議員と市民との間に、乖離が生じていたように感じていましたが、今回の基本条例が、議員自らのものとして実行されるのであれば、素晴らしい議会になるものと確信する一人であります。例えば、第5条では「市民への報告と市民との意見交換の場として、議会報告会を行うものとする」とあります。また、議員は資質を高めるため、自己研さんに励むようなことが条例の中に記載されています。この条例を一読すると、議員の皆さんのやる気が如実に伝わってきますが、必要なことは議員として、今日まで何が足りなかったのか、という謙虚な総括がない限り、今回の条例は仏作って魂入れずになりはしないかと危惧しています。議員の皆さんのご奮闘を期待しています。



心の通う高萩への独り言

有明町 飯塚 晴美さん

歴史ある高萩市の新生のため、市民一人一人が懸命に行動し努力している姿に明るい光が欲しいです。

毎日毎日心を痛めながら、打開の道はないのかと模索して考えているのに何故か前に進めません。

解決する力強い能力を誰もが持っているのにもかかわらず、気力が湧いてこない今日今頃の現状を考える時、或るひとつの目標を持って集中できるきっかけが望まれて止みません。

新しいものが発見できれば、自ずからやる気も湧いてきますし、生活もエンジョイできと思っています。

市長さんを中心に、市議会議員の方々の今後の御努力とアドバイスを望んでいます。下向きの目線を上向きの明るい目線にしたい願望を持っています。郷土高萩を愛し、安心して住みよい町を望んでいます。



25 日	24 日	23 日	22 ・ 23 日	18 日	16 日	10 日	4 月	27 日	24 日	7 ・ 24 日	4 日	3 日	3 月	28 日	25 日	23 日	17 日	13 日	7 日	3 ・ 4 日	2 月
議会 会 全 員 協 議 会	議会 会 運 営 委 員 会	議会 会 だ よ り 編 集 特 別 委 員 会	関東市議会議長会定期総会	茨城県市議会議長会理事會・ 定例会	茨城県市議会議長会特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	企業団議会定例会	高萩・北茨城広域工業用水道 企業団議会定例会	震災復興等対策特別委員会	議会だより編集特別委員会	第1回定例会	議会運営委員会	議会改革等調査特別委員会	日立・高萩広域下水道組合 議会定例会	市民懇談会	議会基本条例制定のための 市民懇談会	常磐三市市議会議長会	茨城県市議会議長会第2回 議員研修会	県北市議会議長会視察研修 (神奈川県横須賀市)	3・4 日

議長・副議長が 改選されました

第1回定例会最終日に、吉川議長及び今川副議長から辞職願が提出されました。ただちに議長及び副議長選挙が行われ、新しい議長と副議長が決まりました。

第36代議長

吉川 道隆



第34代副議長

大足 光司



第1回臨時会(5月)

- 5月2日(金) 本会議 議案上程・議案質疑
- 7日(水) 文教厚生委員会
- 8日(木) 予算特別委員会
- 9日(金) 予算特別委員会
- 12日(月) 予算特別委員会
- 13日(火) 諮問に関する審査特別委員会
- 15日(木) 本会議 採決

第2回定例会(6月)予定

- 6月13日(金) 本会議 議案上程
- 16日(月) 本会議 一般質問
- 17日(火) 本会議 一般質問
- 19日(木) 本会議 議案質疑
- 20日(金) 文教厚生委員会
- 23日(月) 総務建設経済委員会
- 24日(火) 震災復興等対策特別委員会
- 26日(木) 本会議 採決

※日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

傍聴においでください

本会議、委員会は公開されています。

本会議は会議の当日、A棟の受付で住所・氏名を書いていただき、傍聴券を受け取り、係員の指示に従って傍聴してください。

委員会は、A棟2階の議会事務局で受け付けをして傍聴してください。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	○	○
総務建設経済委員会 文教厚生委員会	○	○
予算特別委員会	○	○
震災復興等対策 特別委員会	○	

市のホームページの「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用しています。使用環境によっては、見られない場合があります。

議会だより 編集特別委員会

委員長 大足 光司
副委員長 田所 和雄
委員 今川 敏宏
岩倉 幹良
小宅 誠
飯田 毅昭
我妻 康伸

議会基本条例制定に向けて市民懇談会の開催や、市長の交代など、めまぐるしい中で、三月定例議会の始まりでした。基本条例に明記されている市民と議会の関係を直視しますと、「議会活動に関して有する情報を積極的に公表し、透明性を高め、説明責任を十分に果たす」この事が議会への関心を寄せていただくための「議会だより広報活動」です。また、議会は新市長に、「市民に、わかりやすい施策別、事業別の説明をするよう」求めていきます。今後は、「議会だより」を通して市民向けの報告と資料の公開をして開かれた議会へと前進いたします。(小宅 誠記)

編集後記